

# 未来像から考える、都市計画の在り方 ～コモンズを再考し、持続的なニュータウンへ～



自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ

福本 優

## 未来像から考える計画手法 -back casting planning-

従来までの都市計画手法はフォアキャスティング (fore casting) と呼ばれる、“現状から何をするか” を積み上げて計画する手法でした。人口減少のように、私たちが今まで経験したことのない社会的な課題への解決策として、“こうあれば良い” という都市の未来像を想像し、どう到達するかを考えるバックキャスティング (back casting) という計画手法が注目されています。関西圏の若い研究者・実務家が集まり、アイデアコンペや論考を重ね、未来像から 2040 年の関西の都市計画を考えるという研究活動を進めています。

研究会のホームページ▶

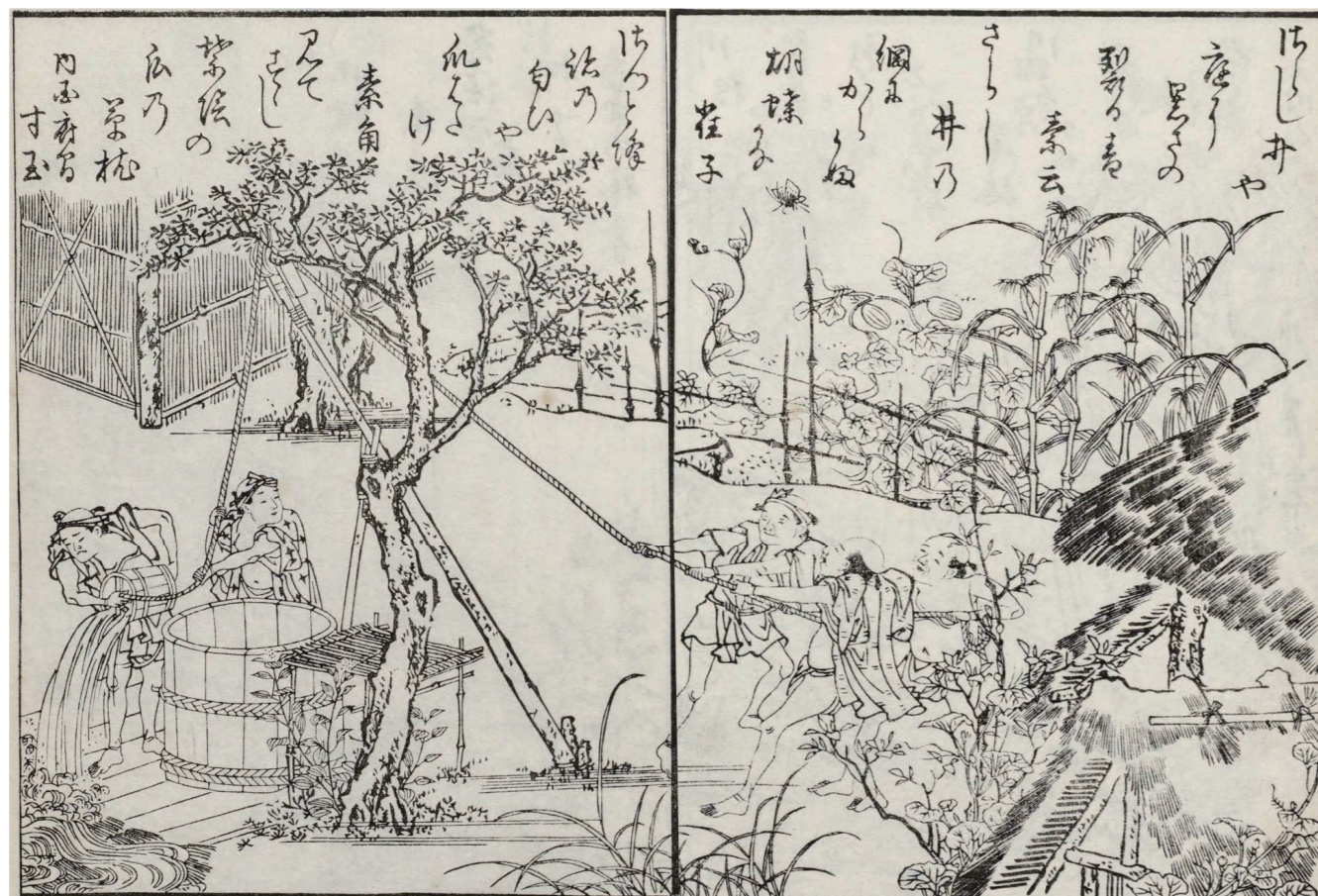


▲郊外ニュータウンの街路を共同空間・広場化\*

## コモンズを再考し、持続的なニュータウンへ (研究会での論考)

人々が集まって暮らす都市にとって、“共同の場” の在り方が重要です。これに対し、“個人の場” を重視して計画されているのがニュータウンです。“共同の場” は、“公共 (行政) の場” に置き換えられ、ニュータウンに暮らす人々がみんなで考える空間というものがありませんでした。研究会では、こうした“共同の場” の在り方を再考することで創る、持続的なニュータウンの未来像を考えました。

\*都市計画学会特別委員会内において筆者が検討 (作画：関谷大志朗)  
\*\*北尾重政 (1768) 「日本風俗絵図 - 繪本世都之時 - 」  
(出典：国立国会図書館デジタルアーカイブ)



▲共同井戸の井戸浚いの様子\*\*

論考のページ▶

